

2号様式

会 議 議 事 録

1 会議名	第7回長岡市持続可能な行財政のあり方に関する有識者懇談会
2 開催日時	令和2年10月9日（金曜日）午後1時30分～午後3時
3 開催場所	まちなかキャンパス長岡301会議室
4 出席者名	（有識者）鯉江座長、海津委員、高橋委員、並木委員、長谷川委員 （事務局）近藤総務部長、小山総務部参事、小嶋財務部長、小池教育部長ほか関係職員
5 欠席者名	なし
6 議題	1 開会 2 前回の議論でいただいた意見の概要（報告） 3 令和元年度決算を踏まえた財政状況（報告） 4 討議 公共施設等について 5 その他 今後のスケジュールについて 6 閉会
7 会議資料	別添のとおり
8 議事概要	別添のとおり

第7回長岡市持続可能な行財政のあり方に関する有識者懇談会 議事概要

- ・はじめに、事務局から前回の懇談会の意見の概要の報告及び確認があり、了承された。
- ・続いて、令和元年度決算を踏まえた財政状況について報告があった。
- ・次に、公共施設等の現状について事務局から説明があり、そのあり方に関する議論が行われた。

指摘・意見等は以下のとおり。

<全般的事項>

- ・市町村合併の影響もあり長岡市は全体的に施設数が多い印象。一方、今後人口は減っていき、現状の施設数や管理方法のままでは市民一人あたりの維持管理費や投資的経費の負担額が漸増していくので見直しが必要。
- ・人口減少に見合った施設の整理は不可避であると考えるが、統廃合による不利益を一方的に生じさせることなく、配置や運営の工夫も検討し、利用者の利便性を低下させないように工夫することも大切ではないか。
- ・また、統廃合や運営の見直しにあたっては、丁寧な説明と理解を得ることが重要であるため、見直しの方向性や基準などの設定が必要ではないか。
- ・見直しにあたっては、例えば教育施設など、聖域を設けて思考停止に陥るなどということのないよう検討すべき。
- ・未来の希望につながるような施設は、最初から廃止ありきの検討ではなく、稼働率や採算性を上げて持続させるための工夫や努力も求められる。
- ・既にある施設や開始したサービスを統廃合することは一筋縄にはいかない。
- ・整備したり始めたりする前に、必要性や将来の需要予測などを十分検討し経営判断することが重要ではないか。
- ・長岡市は市域が広いので、近隣の他市町村の施設を使う方が便利な場合もあり、検討に含めてはどうか。
- ・公共施設の見直しに関しては、次の4つポイントがあるのではないか。

① 指標の設定

市民一人あたりの施設面積や維持管理費を現状程度に維持するなど指標を設定すべき。

② 実態把握と要因分析

利用者が減少している要因が人口減少によるものか、生活スタイルの変化によるものなのか分析した上で機能を再考すべき。民間で同じようなサービスを提供しているものは、できるだけ民間利用を進めるべきではないか。

③ 地域均衡

市域をブロック化し、ブロックごとに均衡がとれるように、施設の統廃合や再配置を考えていくべき。

④ 適正な受益者負担

利用実態や民間競合施設の状況も踏まえた上で使用料等を検討すべき。

<個別事項>

【スポーツ施設】

- ・施設種別が多岐にわたり、数も多いので、要因分析等は施設種別や地域ごとに行う必要がある。

【観光レクリエーション施設】

- ・特に管理運営費が高額な施設は、市民が納得できるよう抜本的な見直しを行うべき。
- ・一方で、民間の力により賑わいが戻ってきている指定管理者制度導入施設もある。市民や外部人材を活用し、既存事業を見直した新たな取組が有効と考えられるので、他の施設でも取組んで欲しい。

【スキー場】

- ・雪国を象徴する慣れ親しんだ施設であるが、見直しの検討は不可避。利用者ターゲットをあらためて整理するなどし、施設としての採算性向上の手立ても検討いただきたい。
- ・現在の小中学校のスキー授業は、学校からスキー場までバスで向かうため、必ずしも市内にスキー場が無ければ困る状況にないのではないか。

【産業施設】

- ・公が実施することの必要性や事業効果を再検討すべき。

【学校（学校給食調理場）】

- ・現在、ほとんどの介護施設の調理は民間が支障なく担っており、こうした状況を踏まえると、今後も民間委託での調理に順次切り替えて問題ないのではないか。
- ・児童生徒数の減少に伴い、稼働率が低下し、施設・設備の処理能力と実調理食数

とが乖離してきている調理場も見られる。調理業務の効率化や高齢者配食サービスの場への活用など、有効な改善策を検討する必要があるのではないか。

【駐車場】

- ・中心市街地活性化や利便性に配慮する必要もあるが、既に数年前から維持管理費が収入額を上回り、収支バランスが崩れている駐車場もある。整備の判断にあたっては採算性なども考慮する必要があるのではないか。
- ・地下駐車場は構造上（縦長・三層式のため誘導員の配置が必要）の課題があるが、繁忙時期と閑散時期で管理方法を柔軟に変えるなど、利便性を維持するための工夫も必要ではないか。

【庁舎】

- ・他市（三大都市圏以外の施行時特例市）との比較では、人口1人あたりの面積が突出している。
- ・老朽化等に伴う庁舎の再整備にあたっては、10年程度先の人口や社会構造等を見通した上で、規模縮小や多機能化を検討する必要がある。

【庁舎警備】

- ・他市では機械警備を導入しており、長岡市も先端のリモート技術等を活用し、機械警備に見直すべきではないか。
- ・取扱件数の少ない夜間受付は、費用対効果の観点から手法の見直しを検討してはどうか。

【窓口サービス】

- ・旧長岡地域の窓口サービス体制は土日夜間も充実している。見直しにより困る人もおり、一旦始めたサービスは止めることが難しいが、コスト面も考えて検討すべきではないか。

- ・次回は11月18日（水）に開催することが確認された。